みはらっせの

コレナンダー その4

「コレナンダー」はみはらっせエリアで発見した、読者のみなさんの「これ何だ?」に編集室がお応えしていくコーナーです。

須波の空中参道

海に向いた鳥居と急階段のある須波皇后八幡神社。見事な空中参道だ。地元有志のちからで獅子舞や神楽などの郷土芸能も復活された。

Q 幸崎から須波港あたりを走っていると海に向かう大きな鳥居と空中に浮いている急階段のある参道(?)のような神社を発見したのですが、あの神社は何ですか?どうして海を向いた急階段なのですか?

(温泉だいすきママ・42歳・広島市)

A はい、その神社は須波にある皇后八幡神社といいます。地元の人からは「八幡さん」と呼ばれ、親しまれています。さて、「なぜ海に向いているか?」ですが…これは当時の交通手段を考えればすぐわかります。神社の創建は永正2年(1505)、今から500年以上も前のこと。鉄道もクルマもなかった当時の交通の要といえば船でした。ちょうど宮島の厳島神社の大鳥居が海に建っているように、海上交通の盛んだった昔は、海沿いの神社はみんな海に向けられて建てられていました。その後、呉線の三原―幸崎間が開通したのが昭和6年(1931)、海に続く参道を横切られてしまった神社側としては線路をまたぐ…という快挙"空中参道方式"を採用しました。国道185号線が開通したのはそれより22年後の昭和28年。鉄道と国道に参道を横切られ今のような空中参道がお目見えしたというわけです。

(みはらっせ編集室:コレナンダーおじさん)

空中参道の下を通り抜ける呉線。高架の骨組はレールが使われている。

三原と世羅の三大○○を勝手に選定!

みはらっせ 三大○○大賞

三種の神器に三冠王…私たちは何故か3(さん)という数字を好むようです。
三大庭園や三大銘菓、3つ選ぶと行ってみたく食べてみたくなるもの。
そこで今回は三原と世羅で「三大○○」を探してみました!
マジメなモノからちょっとおかしなモノまで、
編集室で独断と偏見で選んだ
三大○○たちを発表します!!

みはらっせ Sandai 1

三大名物のっかりもん

三原駅のプチ三原城

三原

それがし、海に浮かんでいるように見える「浮城」と呼ばれた三原城でござる。城主小早川隆景広場の電話BOXの上で三原市民の生活を見守っております。

マリンロードのガリ勉タコ

三原

このたび三原駅前のマリンロードに初登場しましたタコっす!もやい柱にみたてたクルマ止めに10匹の仲間がのっかっているッス。見に来てくださいッス!

小谷大橋の獅子頭

世羅

わしゃー今高野山にある丹生神社出身でのー。国の重要文化財なんじゃー。あまりに偉大じゃけー橋の欄干にものせてもろーたーわー。